

宮城県社会教育委員訪問資料 「松岩公民館の挑戦」

気仙沼市立松岩公民館
館長 小松英紀



1 小松英紀について（あんだ誰？）

名前 小松 英紀（こまつ えいき）

出生地 大島（気仙沼）

職歴 小学校教員を37年←松岩小学校が最終

現職 令和4年4月から

性格 多動系ビュンビュン系 悩むより行動

仕事のモットー **仕事を楽しむ**

趣味 ミニカーの撮影 こまつドローンサービスなど

内容

- 1 小松英紀について
- 2 私が就任前の松岩公民館に対するイメージ
- 3 その後の公民館運営を変えた出来事
- 4 現在の松岩公民館事業の特色
- 5 松岩公民館には何が必要か？
- 6 「おらほの公民館」を目指して
- 7 (. . .)

1 小松英紀について

(なぜ、公民館長になったのか)

松岩小学校の教員のOBとして、

「まだ地域の、特に子供たちへの
貢献ができるのではないか？」

子供たちとの関係

教員としての知識・
技能が生かせる

※詳しくは

資料1「えいき先生」と呼ばれて
をお読みください。

2 私が就任前の松岩公民館に対するイメージ

★私自身

- ・ 選挙の投票所・市内書き初め展の審査会場
- ・ いろいろ講座が行われていることは知っていた

つまらない

「自分にはあまり関わりの無い施設」

★利用者

- ・ 敷居が高い（どうすれば使えるのか分からない）。
- ・ 一部の人しか使わない（裕福で時間のある高齢者）。

期待されない

★松岩公民館経営委員

- ・ 「毎年毎年、同じようなことを煮繰り返して…」

3 その後の公民館運営を変えた出来事(1)

①<小松英紀が小学校在職中のこと>

- ・ 小学校退職を約二週間後に控えたある日
NHK佐賀からの電話が！

「貴校のピアノは**佐賀から贈られたピアノ**ですね？」

…体育館のピアノは震災後、佐賀の皆さんの支援によって寄贈されたものだとその時初めて知った。

周囲の職員に聞いてもそのことを知っている者はいない！

「こんなことでは佐賀の皆さんに申し訳ない」

3 その後の公民館運営を変えた出来事(1)

②<小松英紀が公民館に勤めてからのこと>

公民館に就職して13日目、今回のNHKの取材を受けることになった「絵本 まほうのピアノ」の作者・すみ絵と面会し、

6月4日に「佐賀のピアノ支援に感謝する会を開こう！」

ということを決断する！（52日しか無い）

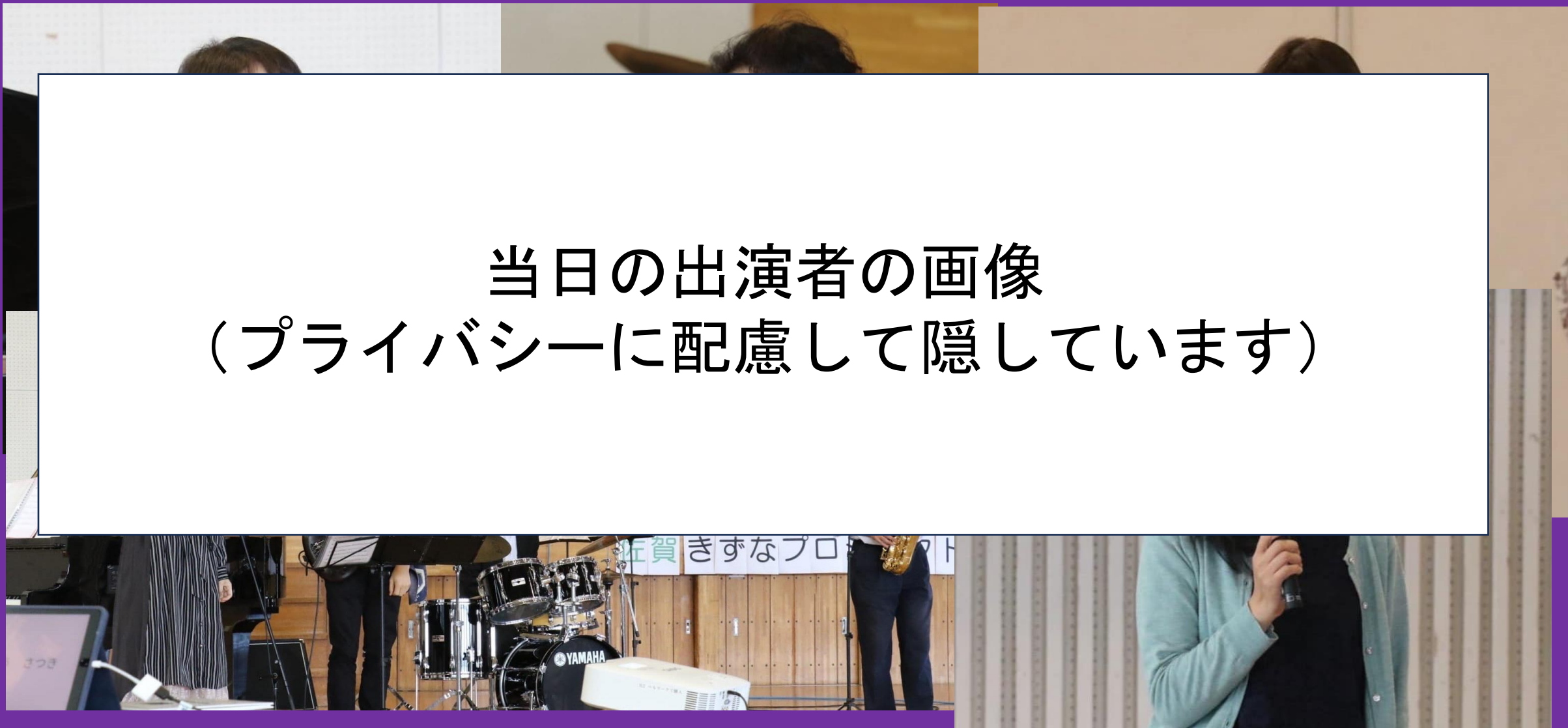
※公民館長の仕事の内容も、イベントの作り方も知らないくせに、**上司にも職員にも相談せずに決定**…いわゆる猪突猛進、暴走と言われても仕方が無い進め方であった。



3 その後の公民館運営を変えた出来事(1)

③<「佐賀きずなプロジェクト『まほうのピアノ』感謝の集い」当日>

当日の出演者の画像
(プライバシーに配慮して隠しています)



時系列（令和4年3月～6月）にまとめると…

- ① 気仙沼の絵本作家 すみ絵が**絵本「まほうのピアノ」**を出版
- ② すみ絵が佐賀県に行き、知事や各施設に寄贈した事がニュースに
- ③ 3月末、**NHK佐賀のキャスターから突然の電話！**

「おたくの学校の体育館にあるピアノは佐賀から贈られたもの？」

- ④ 松岩公民館長に就任後13日ですみ絵さんに会い「佐賀のピアノ支援に感謝するイベント」を開くことで意気投合。

「このことを多くの気仙沼市民に知らせないといけない！」

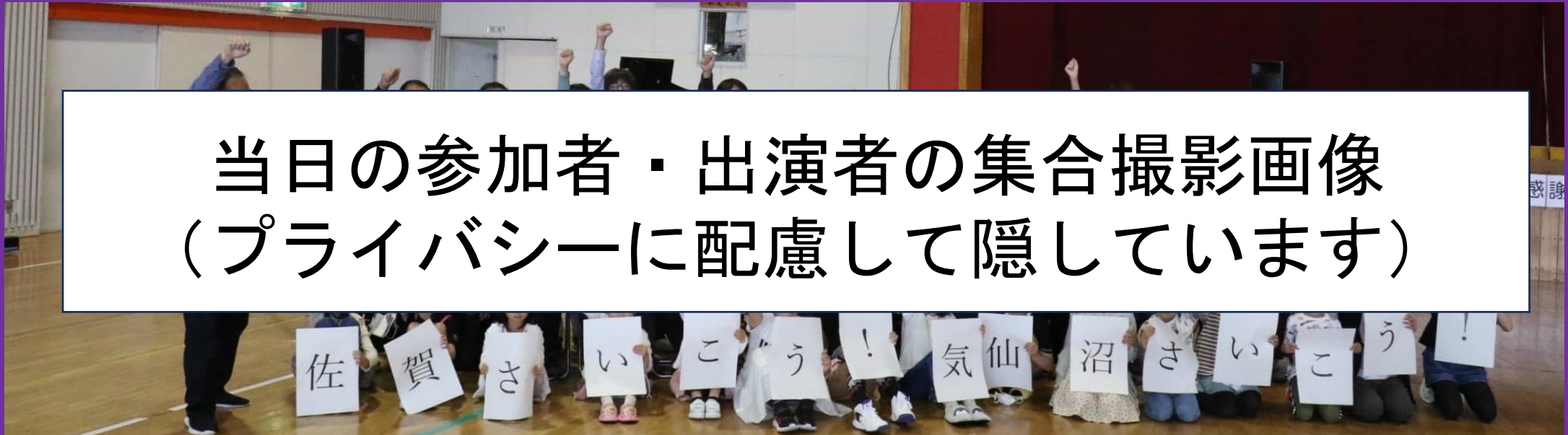
- ⑤ それからわずか52日で「佐賀きずなプロジェクト『まほうのピアノ』感謝の集い」を実施

3 その後の公民館運営を変えた出来事(2)

「佐賀きずなプロジェクト『まほうのピアノ』感謝の集い」当日参加者に、

「これから松岩公民館でやって欲しいことがあったらアンケート用紙の裏側に書いてください」と話したところ…

当日の参加者・出演者の集合撮影画像
(プライバシーに配慮して隠しています)



2月6日月10時受付開始

「世界を救う第一歩！親子で米粉食育教室」

＜この料理教室の実現に当たって…＞

ロシアによるウクライナ侵攻の影響で「小麦」の輸入が減り、価格も高くなってきております。また、日本の近年の課題として挙げられる「食料自給率の低さ」という問題も深刻になりつつあります。

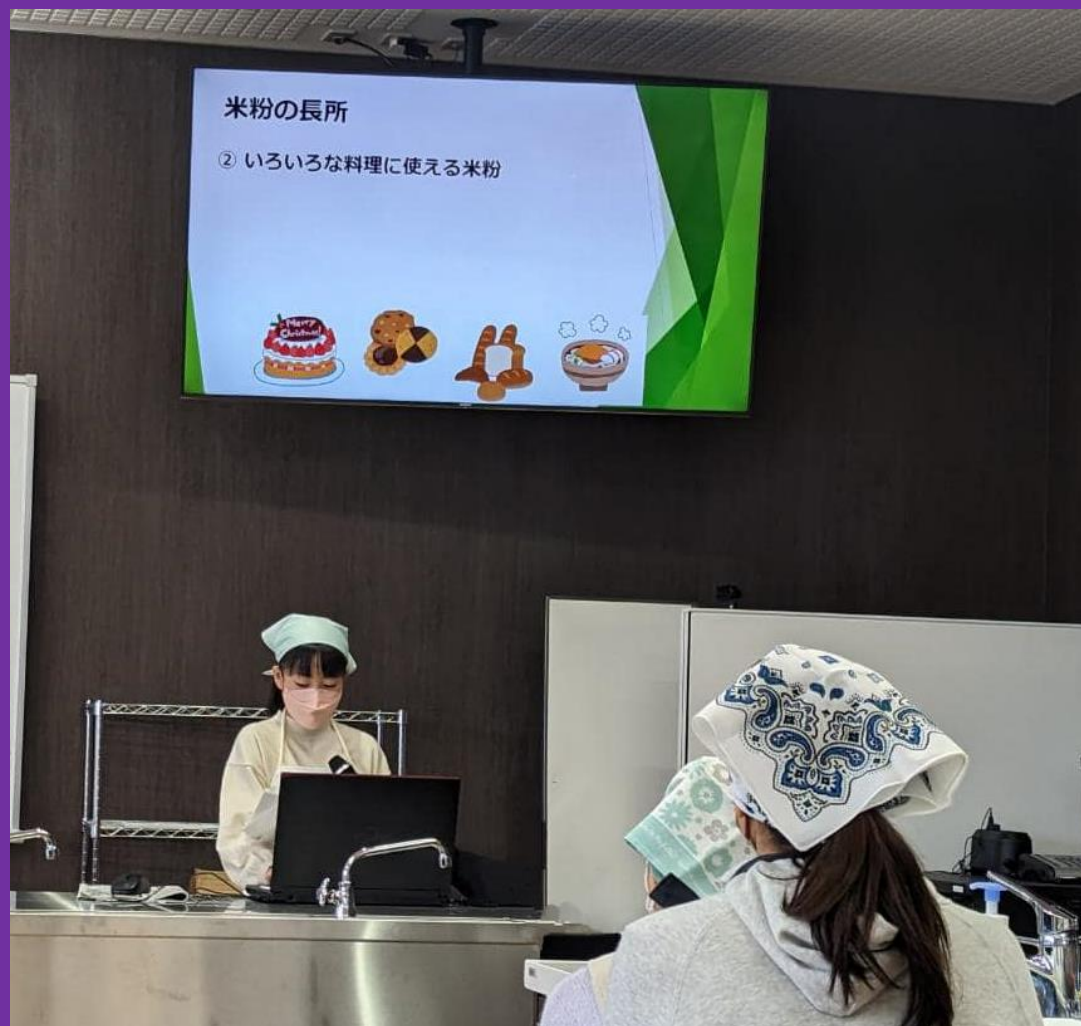
今回、松岩小学校6年生の本藏暖香さんが、「道の駅 大谷海岸」で見付けた「米粉」に興味をもち、小麦粉の不足や日本の自給率の改善、小麦アレルギーへの対応などを考え、松岩公民館に「米粉を使った親子料理教室」を提案してくれました。

(注) 参加費…一人300円(三日、会場にて受付時に集金する)

※ 食材は協力団体が準備します。



「世界を救う第一歩！親子で米粉食育教室」





市民提案型企画第1号

米粉の料理教室を提案した本蔵暖香さん（右から2人目）と母亜季さん（右）。小松館長は「素朴な疑問を自分で突き詰めていくのは、まさに探究学習の王道」と言う=2023年2月20日、宮城県気仙沼市立松岩公民館、星乃勇介撮影 

小6が発案した米粉の料理教室 かつ
ての校長先生に手紙を書いて実現

「松岩公民館は学びたいことをかなえてくれる」

～松岩公民館の支援内容～

- ・ 場所の提供（主催・共催）
※外部の会場も
- ・ 講座のプログラム化
（プレゼン作成支援，内容の構成等）
- ・ 講師・協力団体との連携
- ・ 広報（事前・事後）による
提案者の意図の発信（地元紙，テレビ，SNS等）

4 現在の松岩公民館事業の特色

令和4年度から…

- (1) 市民提案型講座の推進
- (2) 公民館特別企画の推進
- (3) カルチャーセンター的な講座（ものづくり，調理，健康づくり体操等）の充実
- (4) 障がい者が気軽に参加できる講座の充実
- (5) 文化的な活動（落語，文楽，バレエ，お笑い等）の積極的な受け入れ（主に持ち込み企画）
- (6) 住民が気軽に来館できる環境整備

4 現在の松岩公民館事業の特色

(1) 市民提案型講座の推進

「市民の学習意欲を講座として具現化する」

★すべて公民館がお膳立てして一方的に学ばせるような講座からの脱却…市民の公民館事業への参画の促進

＜「まほうのピアノ」感謝の集い開催の動機も！＞

「このことを多くの気仙沼市民に知らせないといけ
ない！」

公民館特別企画第1号

「市民提案企画」とは

市民提案企画【二つの皆鶴姫物語】

源義経の恋人だった皆鶴姫。

しかし、父を裏切ったとして島流しになり、非業の死を遂げたと言われている。

母体田にはそのことにちなむと考えられる地名も複数見られる。

気仙沼（母体田）と会津に伝わる二つの「皆鶴姫伝説」。写真資料や絵本の読み聞かせにより、この「皆鶴姫伝説」について考える。＜前浜・小野寺正典さん企画提案＞

1 日時 12月16日(土) 13:30～15:00

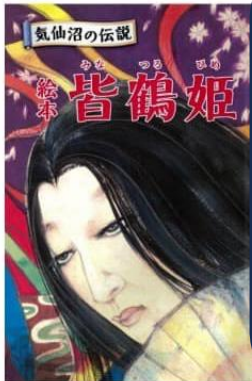
2 会場 松岩公民館研修室

3 内容

・小野寺正典氏による会津の「皆鶴姫祭り」の紹介（画像スライド）

・絵本「皆鶴姫」の読み聞かせ

（千田基嗣・千田真紀子）



- ・ 文字通り市民の提案による企画
- ・ 提案者の想いと、講座としての要件の両立を図る
- ・ 提案者がプレゼンや参加者用の資料を用意することもあるが、それが難しい場合は職員が支援する

皆鶴姫は源義経の最初の妻と言われている。義経は姫の父親が持つ門外不出の兵法書を姫に持ち出させたため怒った父は姫を船で沖に流した。その姫が松岩に流れ着いたという伝説がある。この講座では気仙沼と会津の「皆鶴姫伝説」について学んだ。
＜令和5年12月＞→6年度「皆鶴姫WS」へ

「市民提案企画」の例

4月11日 10時受付開始

けあらしと音楽の集い

定員50名程度

<本講座の目的>

- ・ プロカメラマン・かとうまさゆき氏のけあらしに対する想い、他所のけあらしと気仙沼のけあらしの違い、NHK連続ドラマ小説への映像提供の経緯など、気仙沼の「けあらし」が全国的に有名になった理由等について解説していただく。
- ・ 音楽ユニット「フラワー☆スカイ」によるDVD「Oh my sea your wings～けあらしのはばたき～」や生演奏を鑑賞し、音楽とけあらしのコラボレーションを楽しむ。
- ・ 今や気仙沼の冬の風物詩と言われるようになった気仙沼の「けあらし」を、参加者提供（20名限定）の動画や画像によって鑑賞し合う。



かとう まさゆき 氏



フラワー☆スカイ

4 質の高い教育を
みんなに



13 気候変動に
具体的な対策を



11 住み続けられる
まちづくりを



★ 主催：松岩公民館 ☆後援：気仙沼観光協会



「

4月11日 10

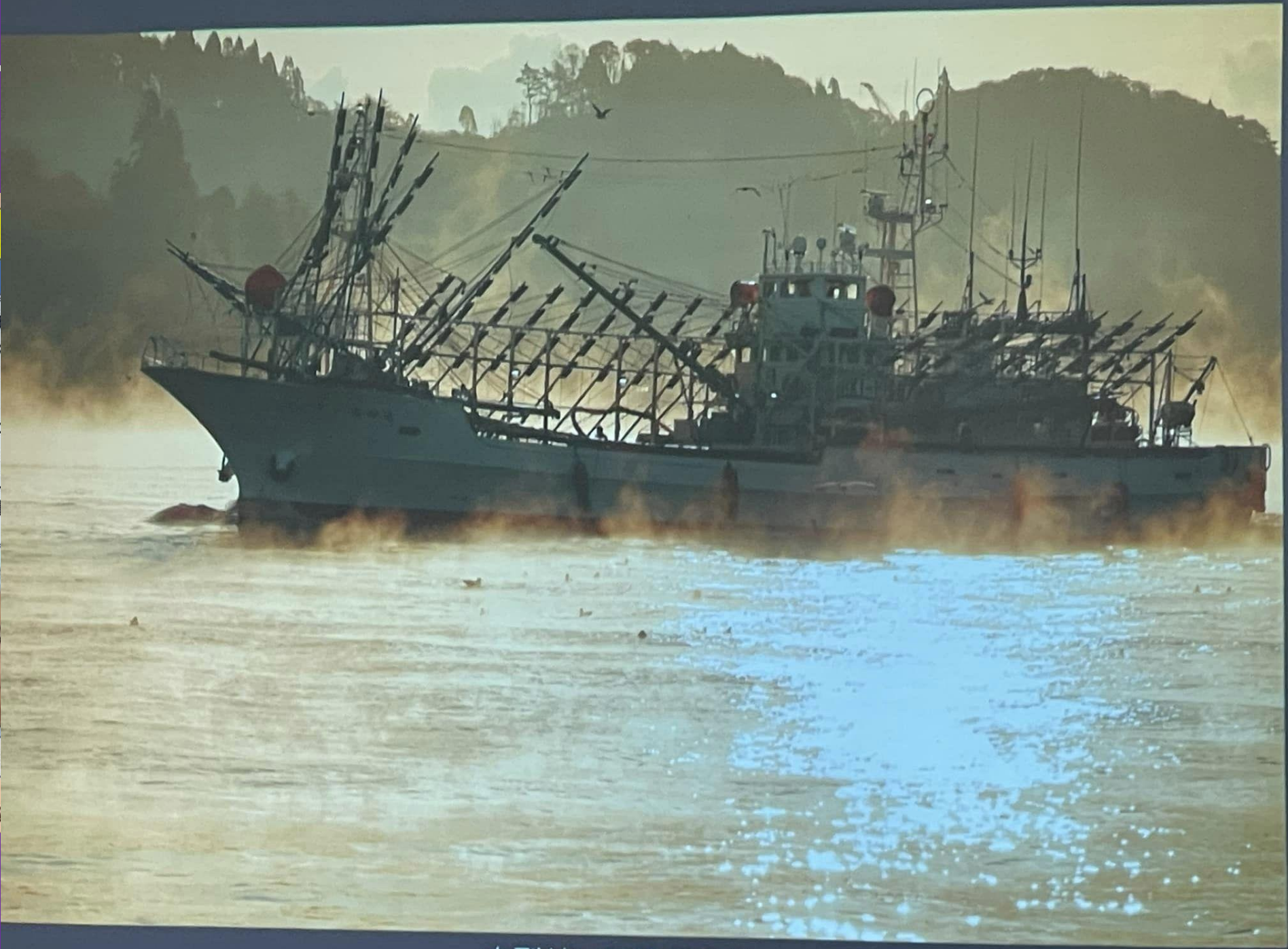
＜本講座の目的＞

- ・ プロカ
らしの違
有名にな
- ・ 音楽ユ
き～」や
- ・ 今や気化
限定)の動



かとう まさ

★ 主催：松岩公



大型サシ網漁船





3 募集数 親子4組

4 参加費 一人500円

【講師】

たべらぼ

気仙沼まち大学運営協議会

4 現在の松岩公民館事業の特色

(2) 公民館特別企画の推進

「今、是非市民に学んでほしいことを企画する」

★内容は、まちづくり、地域の問題・課題、身近な社会情勢など

「公民館特別企画」とは…（例）

「SDGsとは何か？」

- ・ 具体的な経営改革の例
- ・ 臼福本店に習えば他の企業も生き残れる？
- ・ 人材確保，経営，企業の立場
- ・ 行政，同業他社，異業種にも来て欲しかった（来なかった）
- ・ しかし，東京都，横浜市からも参加者が！

4月7日 10時受付開始

遠洋マグロ延縄漁業を持続可能に！

～臼福本店の SDGs～

定員30名程度

- 国際的な漁業協定にのっとらない国による「違法・無報告・無規制」漁業（いわゆる IUU 漁業）に押され「魚の価格の低下」に悩み、現在、日本の漁業は苦境に立たされている！
- 「家族と離れ、長い洋上での生活」が敬遠され、船員のなり手不足で会社の将来にも暗い影が差しつつあった！

「そんな状況に手をこまねいてはだめだ！」

…と臼福本店が改革に立ち上がった！

2020年8月 世界初の快挙「タイセイヨウクロマグロはえ縄漁業」での MSC 認証取得！今現在、国内で唯一



松岩公民館特別企画「SDGs 講演会」

遠洋マグロ延縄漁業を持続可能に！ ～臼福本店の SDGs～

1 日時 令和5年4月21日（金） 午後6時30分から午後8時30分

「公民館特別企画」

理化学研究所の博士が教えてくれる！

松岩公民館特別企画 「私たちの未来と AI」

「最近よく聞く『チャット GTP』って何？使うときの注意点は？」、「将来の暮らしはどう変わるの？」など、AIのことをユーモアたっぷりで分かりやすく教えていただきます！

<講座の目的>

理化学研究所主任研究員、ドイツ GSI 研究所研究グループリーダー、大阪大招聘教授、筑波大客員教授、中国科学院近代物理研究所客員教授である齋藤武彦先生から、AI の現状・進化・人々の生活への影響など「人々の暮らしと AI の関わり」について子供でも分かりやすい内容で講話をいただきます。

「知らないと損する AI の最新のお話」を聞いて近い将来の自分について考えましょう！
親子でも、子供だけ、大人だけでもお気軽にご参加ください。



齋藤武彦先生

教職員時代3回の学校統合を経験した館長による松岩公民館特別企画

「学校統合」について考えよう！

【開催の目的】

令和5年10月に開催された「市政懇談会」では主に、「(1) 洪水・土砂災害から身を守る」、「(2) 学校再編の必要性について」、「(3) 松岩地区の課題について」の説明がありました。中でも「(2) 学校再編の必要性について」は、市内の全ての小中学校が適正規模の学級数を下回っており、**現在、市内では一番児童数・生徒数が多い松岩小学校、松岩中学校も近い将来「学校統合」の対象になると考えられます。**しかし、現役の保護者の参加は1名だけでした。そこで**当事者である若い方々にしっかり伝えたいと考え(2)の部分だけ再説明してもらいます。**

② 小学校児童数推移予測

令和5年10月の学級数の注は数式学級数を示す		()は入学人数		令和5年4月24日現在 松岩地区別による内訳									
学校名	学級数	児童数	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度	令和15年度
中井小	53(8)	6	8.8										
鹿島小	105(14)	6	17.5	156(28)	157(27)	146(18)	131(18)	128(15)	121(15)	4	20.2		
鹿野小	184(43)	7	26.3	174(25)	176(25)	177(34)	168(15)	160(18)	136(19)	6	22.7		
大島小	43(3)	5	7.2	39(4)	33(4)	32(7)	26(3)	29(8)	31(5)	4	5.2		
乳山団小	228(41)	10	22.8	231(40)	227(30)	216(28)	204(27)	199(33)	177(19)	7	25.3		

③ 中学校生徒数推移予測

()は入学人数		令和5年4月24日現在 松岩地区別による内訳													
学校名	生徒数	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度	令和15年度	令和16年度	令和17年度	令和18年度
鹿島中	64(27)	3	21.2	78(30)	83(26)	85(29)	88(33)	80(18)	73(22)	68(28)	77(18)	73(18)	63(15)	48(15)	3
鹿野中	143(51)	6	23.8	135(43)	127(33)	117(41)	107(33)	105(31)	110(46)	106(29)	104(41)	99(18)	85(26)	68(24)	3
乳山団中	122(30)	4	30.5	243(74)	243(80)	232(78)	242(84)	233(71)	229(74)	207(62)	197(61)	171(48)	163(54)	159(42)	6

「白石市の住民主体のまちづくり」講演会

先日の報道で再び「消滅可能性都市」と名指しされた気仙沼市ですが、未だに「消滅可能性都市とはどうなるのか？」という危機感も感じない「まちづくり」の提案がなされていて本当に大丈夫なのかなと思うのは私だけでしょうか？

今回講演をいただくのは、地域の学校が廃校になり過疎化の波が押し寄せた「斎川地区」で、全ての年代の人々が集まって地域の課題を共有し、解決方法を考え、人々のつながりを復活させた「日本一の公民館 斎川公民館」の取組を支えた市の担当者である佐々木さつき氏です。

「自治会に若い人たちが参加しない」「自治会の存在意義を感じていない人が増えている」…自治会の問題はすなわち市や町の存在意義にも直結します。

「気仙沼市を、故郷を、持続させたい」という願いをもっている皆さん、是非ご参加いただき、想いを共有したいと思います。

「白石市の住民主体のまちづくり」講演会

「地域から学校が無くなり，少子高齢化，過疎化の中で住民が団結し，様々な課題を自分たちで解決し，若者から高齢者までの多くの地域の人々が気持ちを合わせ，住みよい地域づくりに向かっている」

松岩のウィークポイント…公民館事業ばかりでなく自治会の活動にも若者の参加が少なくなり，地域の絆も脆くなっている。公民館として地域民の積極的な参画を目指さない！



中学生以上の全住民アンケート調査の実施

きらり斎川笑アップ塾を通して
地区住民がアンケート実施の重要性を認識

- 配布数：963通
- 回収数：823通

自治会長を中心に
アンケート用紙の配布と回収を行った

回収率：85.5% 高回収率！
地域住民の意向が反映されているデータ

斎川まちづくりアンケート

～皆さんの声をお聞かせください～

斎川まちづくり協議会では、地域で暮らす皆さんから、白紙思っていることやご意見を聞き、みんなで地域を良くする。

学生は
行うに
～」と
その

おらいのくるま（地域内ボランティア送迎）

「小原で安心して暮らし続けるためには、買い物・通院の移動手段の確保が必要だ」

「自分は今は困っていないけど、困っている人がいるなら助きたい。それが、将来の自分の安心にも繋がる」



学習会や話し合いを重ね、運行計画の策定→実証運行→本運行



市民の森での巨大風力発電計画について考えよう！

松岩公民館では、地区内の「市民の森」で建設が計画されている「巨大風力発電」について知る機会が二つあります。

一つは、（10月）3日(木)18:30から行われる「松岩地区市政懇談会」で「風力発電所計画の経過説明」が行われる見込みです。

もう一つが、このお知らせの「市民の森での巨大風力発電計画について考えよう！」です。

気仙沼の母なる山 羽田山の中核部

市民の森で風力発電計画が
進んでいるのをご存知ですか？



市民の森での巨大風力発電計画について考えよう

自然・地域・人が共に生きるとは

日時 2024年10月19日(土) 13:30~16:00

会場 松岩公民館研修室

気仙沼市当局が「巨大風力発電は問題ない」「むしろ推奨すべき」と説明をしているのに対し、その問題点を明らかにし、個々が判断する材料をもってもらうため、「気仙沼の森と海を守る会」との共催事業とした。

気仙沼市民の森で計画されている 風車の大きさ比較



物多様性を文え、生態系サービスを提供する母なる水源の山であり、市民が自然に親しむ憩いの場、羽田神社の鎮座する気仙沼の精神的風土を育んできた自然・文化資産でもあります。

4 現在の松岩公民館事業の特色

(3) カルチャーセンター的な講座（ものづくり，調理，健康づくり体操等）の充実

★従来の一般的な講座

しかし，松岩公民館経営委員から

「毎年毎年，同じようなことを煮繰り返して…」との指摘

- ・「毎年やっているから」その時期になると事務的に「日時などを入れ直して…」という意識を変えないと！
- ・「なぜその講座をするのか？」という講座設定の「ねらい」を起案書に明示すること（以前は無かった）。このことにより講座改善の視点が明確になる。

4 現在の松岩公民館事業の特色

(4) 障がい者が気軽に参加できる講座の充実

★昨年度から「みんなの音楽祭」を開催

「障がいの有無にかかわらず」という文言を明記する。

→「障がいのある方」が参加しやすい雰囲気づくり

★ユニバーサルスポーツのイベントの開催

→健常者が障がい者スポーツについて理解する機会を！

※卓球バレーボールの活動拠点に

「みんなの音楽祭in松岩公民館」（令和5年11月）



「あ」)

当日の参加者・出演者の集合撮影画像
(プライバシーに配慮して隠しています)



「みんなの音楽祭in松岩公民館Ⅱ」（令和6年11月）

「障がいのある無しに関わらず、誰もが気軽に音楽を楽しみながら『共生』について考える」



みんなでチャレ活「パラスポーツ体験会」

松岩公民館
チャレ活

パラスポーツ 体験会

12/22(日)

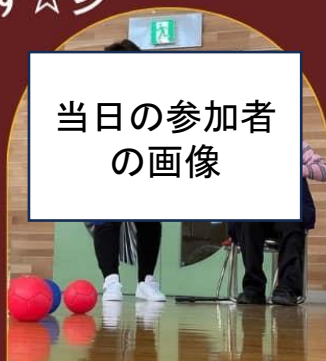
9:30～
松岩公民館



参加無料

パラスポーツ体験は、年齢や性別関係なく大人や子どもなど、どなたでも参加でき、一緒に楽しむことができます☆

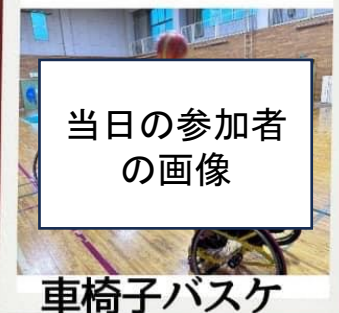
当日の参加者の画像



ボッチャ

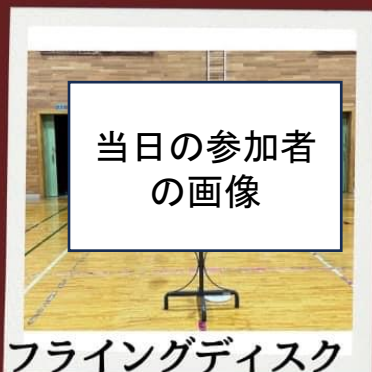
参加対象: どなたでも
定員: 30名
持物: 運動靴、飲み物
講師: 総合型クラブnim
なんでもエンジョイ
面白クラブNEO

当日の参加者の画像



車椅子バスケット

当日の参加者の画像



フライングディスク

申込受付
12/3(火)午前10時～

申込・お問合せ
松岩公民館
☎ 0226-22-6818



3 すべての人に
健康と福祉を



4 質の高い教育を
みんなに

当日の参加者の画像



当日の参加者の画像



当日の参加者の画像



4 現在の松岩公民館事業の特色

(5) 文化的な活動（落語，人形浄瑠璃，バレエ，お笑い等）の積極的な受け入れ（主に持ち込み企画）



当日の参加者の画像

4 現在の松岩公民館事業の特色

(6) 住民が気軽に来館できる環境整備



5 松岩公民館には何が必要か？

(1) もっと「公」民館に…

- ・ 一般的に「弱者」と言われる方々の利用が少ない
→障がい者，一人暮らしの高齢者などが気軽に参加できる講座等の充実と福祉施設，社会福祉協議会等と連携した情報発信の強化

(2) 公民館運営・講座等に参画する市民を増やしたい

- ・ 公民館の存在感が低い（利用価値が少ない？）
→更なる参加意欲が醸成できる魅力的な講座の開発と情報発信の強化

6 「おらほの公民館」 となるために

(1) 松岩公民館の「よさ」を伝える

- ① 「想い（経営理念）」を込めた「公民館だより」
 - ・ 年6回から毎月発行に（松岩地区全戸配布…白黒）
 - ・ 表面（以上）は館長が担当…**経営理念も**
→「字が小さくて読むのが大変」という声もある
が**内容に強く共感**してくださる方もいる。

※弱点は若い人があまり読まない（年老いた親がすぐに捨ててしまう…らしい）→最近は読まれるようになりつつある…ような気がする。

6 「おらほの公民館」 となるために

(1) 松岩公民館の「よさ」を伝える

② SNSの活用

ア 令和4年4月から「気仙沼市立松岩公民館
Facebook」をスタート

→公民館だよりの補足，活動の報告（画像・動画），
緊急の連絡（たより配布後の講座開設の連絡，講座の
受付終了・再募集等）

イ 令和6年4月から「松岩公民館公式LINEアカウ
ント」をスタート

→Facebookの内容に加え，地域の安全情報を含めた情報

6 「おらほの公民館」 となるために

(2) 魅力的な講座の開発

① 若者の参加意欲を引き出す取組

ア 仮称「オタク集まれ」

- ・地域民の得意なことをアピールし合うイベント
→同じような興味をもつ同士の集団づくり

★楽器演奏，各種スポーツ，モノ作りなどの得意な趣味を披露し合う

※せっかくすごい能力があるにも関わらず，それを人に知られることも無く職場と家の往復するだけの人生ではもったいない！→仲間をつくる

★最終的に「松岩に住み続けるよさ」に結び付けたい

仮称「オタク集まれ」の参加者の例





6 「おらほの公民館」 となるために

(2) 魅力的な講座の開発

① 若者の参加意欲を引き出す取組

イ 保護者世代が運営する「子ども職業体験」

- ・ 歯科衛生士，栄養士，看護師等

※現在計画中の段階だがある程度まとまった公民館
予算を支出し必要な講師の依頼や会議の開催等自由
に運営させる（上司の了承済み）。

6 「おらほの公民館」 となるために

(2) 魅力的な講座の開発

① 若者の参加意欲を引き出す取組

ウ 市民で講座を作り上げる取組

仮称「『おかえりモネ』トリビュート（感謝）」

- ・ 登米公民館との連携事業
- ・ 「計画段階の話合いに参加したいという方を募り、3月の下旬（恐らく平日の夜？）に第1回の集まりをもちたいと思います。」

仮称「『おかえりモネ』 トリビュート」とは？

- ・ 登米3名， 気仙沼3名， 計6名が10～15分， 「おかえりモネ」に関するエピソードを語る。
- ・ 登米会場， 気仙沼会場とも同じ内容で実施する。
- ・ 松岩公民館ではこの講座について構想するメンバーを募り3月下旬に話し合いをもち意見を出し合う。
- ・ 時期は未定（出演者が決まってから検討する）。

仮称「『おかえりモネ』 トリビュート」 内容例

小松英紀の場合

1 平成30年1月？の日曜日，脚本家の安達奈緒子氏とNHKのディレクター4名が松岩小学校の校長室へ

「気仙沼の素晴らしいところを教えてほしい」

2 小松英紀から

(1) 気仙沼湾の氣嵐を撮影したドローン動画を見せた。

安達「これが『けあらし』というものですか？」

(2) 気仙沼・大島の田中浜の黒焦げの廃船から浜の上空を撮影したドローン動画を見せた。

(3) 「気仙沼にはすごい牡蠣漁師がいて，学者よりも誰よりも先に，世界で初めて森と海の関係に気付いたんだよ」

※畠山重篤氏のこと…ドラマ中では藤竜也さんのセリフに

— 永浦百音

モネ

モネの脚本家・
安達奈緒子先生

「おかえりモネ・メモリアル展」での「モネ」の画像

モネのメモリアル
ブック

小松英己様

心積あげようって思った
安達奈緒子

坂口健太郎

永瀬

6 「おらほの公民館」 となるために

- (3) 不登校・引きこもり対策
仮称「子ども臨床支援塾」
- 全6回
 - 大学の教授ら専門家による
 - 金曜夜の講座と翌日の相談
 - 無料

講師

子ども臨床支援塾 代表
阿部 正孝 先生
元東北福祉大学教授



全6回

参加
無料

子育て支援事業

若者たちの 困難を考える

生活のしづらさを抱える子どもや不登校など
ソーシャルワークの視点で学びましょう。
あらたな気づきと出会えるかも…

こんな方におすすめ

- ☒ 発達障害などについて知りたい
- ☒ 不登校について知りたい
- ☒ 子育てに不安がある

- ①発達や不登校など
子育ての疑問を学べる
- ②子ども臨床支援塾所属
ソーシャルワーカーへ
個別相談も可能

日時 各回 18:00～19:30(予定)

- 第1回 2025.5.16(金) 「大人のための若者理解」
- 第2回 2025.7.18(金) 「子どもに起こるこころの障害」
- 第3回 2025.9.19(金) 「学校の適応上の問題」
- 第4回 2025.11.21(金) 「病気？それとも何でもないの？」
- 第5回 2026.1.16(金) 「『ひきこもる』ということ」
- 第6回 2026.3.20(金) 「子どもへ。親へ。私たちの働きかけ」

定員 20名

参加料 無料

対象

子育て中の方・地域支援者
教育関係者等

講師

子ども臨床支援塾 代表



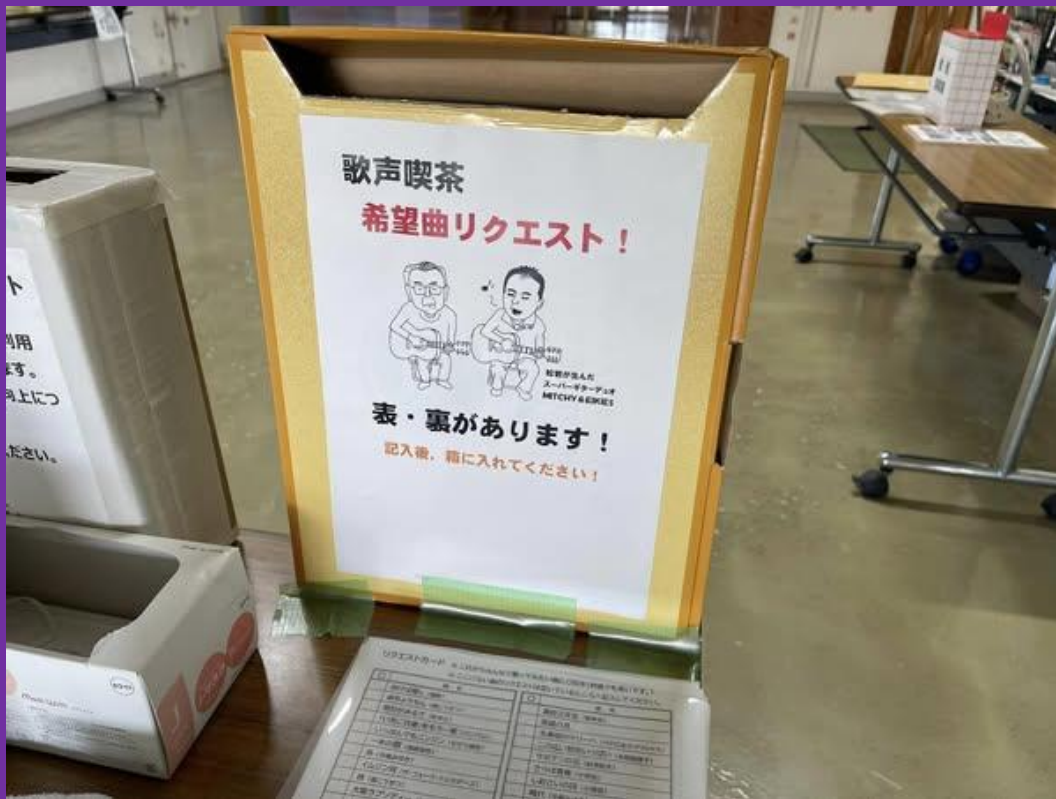
6 「おらほの公民館」 となるために

その他…敷居の低い公民館，いつでもどうぞ！



6 「おらほの公民館」 となるために

絆を強くする公民館





**松岩が生んだ
スーパーギターデュオ
MITCHY & EIKIES**

成果…はまだ書けないので現状の明るい兆し

- ・「ボランティア募集」をLINEでお願いするとすぐに10名以上集まる（落語・人形浄瑠璃）。
- ・松岩はもちろん他地区の皆さんから「松岩公民館、いろいろやっていてすごい！」とお褒めの言葉が！
- ・小学生や保護者世代の提案が増えている。

※ちまたでは「困ったことがあったら松岩公民館長に相談すると解決するらしい」という噂があるようで…

後 沢 1 区

- 1) 野井 かつる さんより

お茶の会申込み時

公民館の事業に参加して、

いつも 心を豊かにしてくれて ありがとう。

生きる希望を あたえてくれて ありがとう

松岩公民館の情報発信（市内の公民館でLINEの公式アカウントは松公のみ）

○公民館だより（R5から年6回→毎月）

…運営方針，講座等のお知らせが中心

○フェイスブック（4/24時点で「いいね！」158名，フォロワー294名，つまり投稿が表示される人は計452名）

…講座等のお知らせ，活動の様子（画像・動画）

○LINE（4/24時点で友達…情報を受け取れる人300名）

…公民館だよりに載せられなかったお知らせ，緊急のお知らせ・お願いなど

松岩公民館公式 LINE アカウント

START

☆☆☆ 4 月から正式運用を開始いたしました！ ☆☆☆

<友だち追加の仕方>



この QR コードを読み取
っていただくか、
「友だち検索」から ID
@114fjdbh
を入力してください。

今後、安全にかかわる情報
(クマやサルの情報等) を提供しまし
た。不審者等の情報も提供します。



気仙沼地域は漁港ではあるが、農業地帯も含む地域である。公民館区内人口は約8千人となっている。
地域の団体による管理運営の指定管理者制度をとっている。館長以下職員は3名である。
公民館はさまざまな和室、調理室、ロビーなどを保持する。このデザインは、全国の公民館の一般的な特徴である。

松岩公民館の外観



日本の公民館は地域のセンターとして、災害時に避難所としての役割を担う歴史があった。東日本大震災におけるさまざまな避難所のなかで、その運営が注目されたのは、公民館だった。

その一つの宮城県気仙沼市の松岩公民館は、公民館経営委員会という組織があり、機動性のある避難所運営が実現できた。震災当時、600人以上の避難生活支援を公民館が担った。

職員からのメッセージ

大震災時に佐賀県民が「震災の心のケアにはピアノが必要」とのことでピアノ等を贈ってくれた。館長が就任早々、この話題を絵本にした気仙沼市在住の絵本作家・すみ絵さんらとともに「まほうのピアノ感謝の集い」を開催した。短期間でピアノ教室の先生とその仲間のジャズバンドなどボランティアのメンバーを集めた行動力には驚いた。

「歌声喫茶」の前身は地域福祉事業の意味合いも強く、地域の多くの皆さんから「参加して楽しい」と喜ばれている。

また、本館の取り組みについて館長が外向いて説明する活動でも松岩公民館を身近に感じてもらえたと思っている。

文字数が多くなった公民館だよりによって、以前より問い合わせが多くなった。このことは地域住民が以前より公民館だよりの内容に興味をもつようになったからだと思う。

(小松)

「歌声喫茶」の風景



〈執筆〉小松 英紀(気仙沼市松岩公民館長)
〈協力〉上田 幸夫(日本体育大学名誉教授)

取り組みの内容

1. 公民館の情報発信

SNSの活用に取り組み、松岩公民館Facebookを開始した。各サークルの紹介、講座募集の呼びかけのほか、講座や行事などの活動についても画像や動画を使って紹介している。さらに「松岩公民館公式LINEアカウント」を開始した。また毎月「公民館だより」を発行している。

2. 「魅力的な講座」へ

「ドローン講座」「ミニバイク体験会」など、「松岩公民館は型破り!何でもやる」というイメージが広がっている。「米粉を活用した料理をみんなに広めたい」という提案児童の想いを生かし、大人も学べる料理教室ができた。このような「市民提案型企画」が定着している。

関連団体との共催で「歌声喫茶in松岩公民館」を開催し、大好評を得た。公民館になかなか足を運べないという地区へも出張対応している。

3. タイムリーな講座・魅力的な講座の工夫

地元のアマチュアミュージシャンらによる作曲づくりを受け「音楽の集い」を企画したり、当市に移住したシャンソン歌手を講師に「上手に歌うコツを学ぶ講座」を早速企画した。

また、公民館の講座に若い層の参加を促すため、「リズムジャンプ」「金山資料館で砂金採り体験」などの親子で参加できる行事の実施や、現代の課題であるSDGsに関する講演会では、地域の問題を盛り込んだ「遠洋マグロ延縄漁業を持続可能に!」といった企画をすすめている。

取り組みを支えているものとは

公民館の役割は人々が抱く「学びの欲求」をいかに「学ぶ楽しさ」に結び付けるかであり、時には住民の発案を生かし、時には公民館が現代の課題を掘り起こし、持続可能な地域社会の存続に向けて個人や地域全体の力を高めることにあるものと考えます。

公民館が主導する「上からの(押しつけの)学び」ではなく、現在本館の重点である住民による提案を生かす「市民提案型企画」や、現代的話題を講座化する「公民館提案企画」は人々に「学びを形にする成就感」「学びの欲求を具現化する達成感」「未知なるものに会おうわくわく感」を与えている。

昨年度、市民から提案があり実施した講座は、次年度は「この先どんなことを学びたいか、どういう活動をしたいか」を話し合うワークショップに発展し、参加者の総意で文献研究、所縁の地を訪ねるなどの活動を行うことになった。まさに学びが公民館主導から住民主導になったのである。

地域の人々から頼りにされ、思い通りに活用もされ、何かあったときは何でも相談に乗る、そんな「おらほの公民館」になればと願っている。

1.公民館の情報発信

SNSの活用に取り組み、松岩公民館Facebookを開始した。各サークルの紹介、講座募集の呼びかけのほか、講座や行事などの活動についても画像や動画を使って紹介している。さらに「松岩公民館公式LINEアカウント」を開始した。また毎月「公民館だより」を発行している。

2.「魅力的な講座」へ

「ドローン講座」「ミニバイク体験会」など、「松岩公民館は型破り!何でもやる」というイメージが広がっている。「米粉を活用した料理をみんなに広めたい」という提案児童の想いを生かし、大人も学べる料理教室ができた。このような「市民提案型企画」が定着している。

関連団体との共催で「歌声喫茶in松岩公民館」を開催し、大好評を得た。公民館になかなか足を運べないという地区へも出張対応している。

3.タイムリーな講座・魅力的な講座の工夫

地元のアマチュアミュージシャンらによる作曲づくりを受け「音楽の集い」を企画したり、当市に移住したシャンソン歌手を講師に「上手に歌うコツを学ぶ講座」を早速企画した。

また、公民館の講座に若い層の参加を促すため、「リズムジャンプ」「金山資料館で砂金採り体験」などの親子で参加できる行事の実施や、現代の課題であるSDGsに関する講演会では、地域的话题を盛り込んだ「遠洋マグロ延縄漁業を持続可能に!」といった企画をすすめている。

取り組みを支えているものとは

公民館の役割は人々が抱く「学びの欲求」をいかに「学ぶ楽しさ」に結び付けるかであり、時には住民の発案を生かし、時には公民館が現代の課題を掘り起こし、持続可能な地域社会の存続に向けて個人や地域全体の力を高めることにあるものとする。

公民館が主導する「上からの（押しつけの）学び」ではなく、現在本館の重点である住民による提案を生かす「市民提案型企画」や、現代的話題を講座化する「公民館提案企画」は人々に「学びを形にする成就感」「学びの欲求を具現化する達成感」「未知なるものに出会うわくわく感」を与えている。

昨年度、市民から提案があり実施した講座は、次年度は「この先どんなことを学びたいか、どういう活動をしたいか」を話し合うワークショップに発展し、参加者の総意で文献研究、所縁の地を訪ねるなどの活動を行うことになった。まさに学びが公民館主導から住民主導になったのである。

地域の人々から頼りにされ、思い通りに活用もされ、何かあったときは何でも相談に乗る、そんな「おらほの公民館」になればと願っている。

また、公民館の講座に若い層の参加を促すため、「リズムジャンプ」「金山資料館で砂金採り体験」などの親子で参加できる行事の実施や、現代の課題であるSDGsに関する講演会では、地域的话题を盛り込んだ「遠洋マグロ延縄漁業を持続可能に!」といった企画をすすめている。

完